

① 町の農業政策について

農業従事者の高齢化や後継者不足による農家の減少が年々深刻化しています。また、耕作放棄地の増加や有害鳥獣対策についても、なかなか成果が出ていないように思われます。そこで、以下についてお尋ねします。

- (1) 農業者の後継者不足についての現状と、その対応について。
- (2) 耕作放棄地の増加による地域への影響をどのように考えているか。
- (3) 有害鳥獣対策の実態とその効果、および今後の対応について。

② 本町の高齢化対策について

長崎県の高齢化率は全国的にも高く、本町は県内でも比較的若い方であると言われておりますが、65歳以上の高齢者の割合については、2000年には13.6%、2010年には19.1%、2021年には27.8%となっており、急速な増加を見せております。少子高齢化問題は、町全体、ひいては社会全体の問題です。そこで、以下についてお尋ねします。

- (1) 高齢者の増加は町の財政にどのような影響を及ぼすか。
- (2) 独居高齢者の世帯は町内にどの程度あり、町はどのような関与をしているか。
- (3) いわゆる「老人ホーム」など、高齢者の入所施設については町民の需要に対応できているのか。
- (4) 高齢者の自動車運転免許証の返納はどの程度あっているか。また、免許証返納者の移動手段の確保についてはどのように考えているか。

③ 町長選挙について

町長の任期も残すところ4カ月ほどになった。この12年を振り返ると、大きな成果としては高田南土地区画整理事業、新図書館と健康センターの複合施設、と一定のめどが挙げられると思う。来年4月には町のリーダーを選ぶこととなるが、町長のこれまでの自己評価と、次回の町長選挙に対する考えについて伺う。